

## 地域医療研修レポート

豊橋市民病院 研修医

地域医療研修ということで新城市民病院にて研修させていただきましたが、毎日学びが多く内容の濃い実習だったのであつという間の4週間でした。総合内科の先生方をはじめ、病院内外でこの奥三河の医療を支えていらっしゃるスタッフの方々には本当にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいになりつつ、今回の研修を振り返っているところです。

総合内科での外来では初診の患者さまを診させていただき、既往歴・併存症はもちろん生活歴も丁寧に聴取して、隠されているかもしれない疾患にも考慮しつつ鑑別を挙げていくよい機会となりました。診察の合間に初診担当の先生からご指導いただけただけでなく、毎日の振り返りの際に他の先生方も鑑別、検査、治療等のアドバイスをしてくださり、1例毎に深く考察できました。その他総合内科の先生方が毎朝交代で勉強会を開いてくださり、日々診療をするときに抱いていた疑問点も解決できました。また、病棟においてはできる限り根治を目指す加療というよりは現状維持もしくは安らかな最期を迎えるための加療といった色が豊橋より強く、それゆえいつも当たり前に行っている持続点滴での薬剤投与や酸素投与などの医療行為に対して柔軟な考え方ができるようになった気がします。内科カンファレンスでリハビリの進捗状況・退院後の方針が議論されているのを見て、患者さんが抱える疾患以外の問題点やリハビリの重要性も再認識できました。

院外では訪問看護・訪問リハビリや往診に同行させていただき、助産所やデイケア、作手診療所にも伺いました。百聞は一見に如かずと言いますが、患者さまのご自宅で老老介護の実態を目の当たりしたときには高齢社会がいかに深刻なものなのかを痛感させられました。その一方で、余命わずかと宣告されたもののご自宅に戻ってきたら好物を召し上がるまでに回復なさった患者さまや、ターミナルにも関わらず家族に囲まれ笑顔を絶やさず生き活きと療養なさる患者さまもいらっしゃり、自宅で余生を過ごすことが患者さまにとっていかに大きなことなのか気付かされ、医療者自ら訪問してこうした患者さまを支えることのやりがいを感じました。

また、EBMに関しては名郷先生から今まで頼り切っていたガイドラインに対してもエビデンスに基づいて自ら評価する姿勢の大切さや論文の読み方について御指導いただきました。“食わず嫌い”だったPubMedもこれを機に活用していきたいと思います。

新城での実習はとても勉強になると昨年研修医2年目の先生方から勧められて選択したのですが、院内での実習と院外での実習が有機的に活かされていて医療に関して包括的に学ぶことができ、希望通り新城で実習できて本当によかったです。この奥三河で地域の方々に真摯に向き合っている先生方やスタッフの方々の姿を忘れずに、医療者としての核をしっかり持ってこれからも日々研鑽を積んでいきたいと思っております。

4週間ありがとうございました。